

# 令和8年度 農作物病虫害発生予察5月月報

令和8年(2026年)6月1日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県防府地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
5.1	16.3	17.1	△ 0.8	20.7	22.5	△ 1.8	11.3	11.9	△ 0.6
5.2	17.7	17.8	△ 0.1	23.7	23.2	0.5	10.8	12.6	△ 1.8
5.3	20.3	18.3	2.0	25.9	23.6	2.3	14.5	13.2	1.3
5.4	22.1	18.9	3.2	28.4	24.2	4.2	16.4	13.9	2.5
5.5	22.2	19.6	2.6	26.1	24.8	1.3	19.0	14.6	4.4
5.6	23.0	20.2	2.8	27.9	25.3	2.6	18.5	15.5	3.0
平均・計	20.3	18.7	1.6	25.5	23.9	1.5	15.1	13.6	1.5
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
5.1	47.0	28.7	18.3	31.7	33.5	△ 1.8			
5.2	0.0	33.8	△ 33.8	49.4	33.5	15.9			
5.3	0.0	35.6	△ 35.6	57.6	34.0	23.6			
5.4	6.0	30.4	△ 24.4	54.9	34.6	20.3			
5.5	23.5	24.8	△ 1.3	31.7	34.7	△ 3.0			
5.6	15.5	26.4	△ 10.9	39.2	39.7	△ 0.5			
平均・計	92.0	179.7	△ 87.7	264.5	210.0	54.5			

## II 作物の生育状況

- (1) コムギ : 穂数は平年並、成熟期は平年に比べて5日程度早い見込み。
- (2) カンキツ : 開花は平年並みから早い産地が多く、着花量は品種等によるばらつきはあるが、全体的に裏年傾向で少ない見込み。
- (3) ナシ : 着果状況は概ね良好で、生育は概ね平年並みで推移している。

III 病害虫の発生状況

1 普通作物

2026年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																	
イネ いもち病 (苗いもち) もみ枯細菌病 (苗腐敗症) ばか苗病 苗立枯病	下旬の共同育苗施設(25施設)の聞き取り調査では、下表のとおりであった。  表 共同育苗施設の聞き取り調査結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病害名</th> <th colspan="2">発生施設率 (%)</th> </tr> <tr> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いもち病</td> <td>4.0</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>もみ枯細菌病</td> <td>0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>ばか苗病</td> <td>0</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>苗立枯病</td> <td>20.0</td> <td>1.9</td> </tr> </tbody> </table>	病害名	発生施設率 (%)		本年	平年	いもち病	4.0	2.6	もみ枯細菌病	0	1.5	ばか苗病	0	1.9	苗立枯病	20.0	1.9	—	—
病害名	発生施設率 (%)																			
	本年	平年																		
いもち病	4.0	2.6																		
もみ枯細菌病	0	1.5																		
ばか苗病	0	1.9																		
苗立枯病	20.0	1.9																		
セジロウンカ	4月1日～5月26日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は1頭(平年0頭)で、5月19日～5月28日のネットトラップ(防府市牟礼)においては確認されなかった(平年初確認日5月30日)。	県内全域	—																	
トビイロウンカ	4月1日～5月26日の予察灯(県内3か所)および5月19日～5月28日のネットトラップ(防府市牟礼)において確認されなかった(平年初確認日6月18日)。	県内全域	—																	
ヒメトビウンカ (調査ほ場数:17)	下旬のコムギの20回すくい取り調査では、成幼虫数40.2頭(平年72.7頭)で平年並みであった。	県内全域	—																	
ニカメイガ	4月1日～5月26日の予察灯(県内3か所)では確認されず、平年並みであった。	—	—																	
イネミズゾウムシ	4月1日～5月26日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は7頭(平年10.8頭)で平年並みであった。明確な成虫誘殺ピークは認められなかった。	県内全域	—																	
コムギ (調査ほ場数:17) 赤かび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率76.5%(平年20.6%)、発病穂率1.6%(平年0.6%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率35.3%(平年38.8%)、発病穂率0.6%(平年1.3%)で平年並みであった。	県内全域	少 1,269																	
黒節病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年7.8%)、発病茎率0%(平年0.5%)で平年並みであった。	—	—																	
うどんこ病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.8%)、発病葉率0%(平年0.4%)で平年並みであった。	—	—																	

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
コムギ 黄斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年41.1%)、発病茎率19.5% (平年29.2%) で平年並みであった。	県内全域	中	98
			少	391
			計	489
縞萎縮病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年3.7%)、発病茎率54.9% (平年0.6%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	684
			多	98
			中	195
			計	977

## 2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率10.5% (平年2.6%)、発病葉率0.8% (平年0.1%)、発病度0.3 (平年0.0) で多かった。	県内全域	少	107
そうか病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率26.3% (平年6.9%)、発病葉率2.5% (平年0.2%)、発病度0.6 (平年0.0) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	269
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.6% (平年32.4%)、発病花率6.5% (平年1.6%) で多かった。	県内全域	甚	54
			多	54
			中	215
			少	215
			計	538
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年12.6%)、寄生葉率2.1% (平年2.1%) で平年並みの発生であった。	県内全域	少	269
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年26.8%)、寄生新梢率0.4% (平年1.6%) で平年に比べやや少なかった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少	54
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀ほ場数:9)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率22.2% (平年4.4%)、発病葉率4.8% (平年0.1%)、発病新梢率1.8% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚	7
			少	7
			計	14
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年8.7%)、発病葉率0.5% (平年0.2%) で平年並みであった。	県内全域	中	8
			少	8
			計	16
赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年6.7%)、発病葉率0.1% (平年0.4%) で平年並みであった。	県内全域	少	8

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
ナシ アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7%(平年21.3%)、寄生新梢率1.0%(平年0.8%)で平年に比べやや少なかった。主要種はユキヤナギアブラムシであった。	県内全域	中 8
ハダニ類	下旬の巡回調査では発生ほ場率0%(平年5.3%)、寄生葉率0%(平年0.1%)で平年並みであった。	—	—
ニセナシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.7%(平年6.7%)、被害新梢率1.5%(平年1.8%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 16 少 16 計 32
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では発生ほ場率0%(平年1.3%)、寄生葉率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
ナシヒメシクイ	4月26日～5月25日のフェロモントラップ(萩市小川)の誘殺数は10頭(平年7.6頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	—
キウイフルーツ (調査ほ場数:3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年33.3%)、発病葉率0%(平年3.5%)であった。	—	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオ カメムシ、クサギ カメムシ)	4月26日～5月25日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は317頭(平年89.9頭)で平年に比べ多かった。 5月1日～25日のフェロモントラップ(県内3か所)のチャバネアオカメムシの誘殺数は413頭(平年200.0頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	—

## 3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
タマネギ (調査ほ場数:19) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率21.1%(平年54.0%)、発病株率10.6%(平年29.3%)で平年に比べ少なかった。	県内全域	甚 6 多 12 少 6 計 24
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年14.1%)、発病株率0%(平年0.8%)で平年に比べ少なかった。	—	—
軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.6%)、発病株率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	—	—

2026年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
タマネギ さび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%（平 年0.6%）、発病株率0%（平年0.0%）、 発病度0（平年0.0）で平年並みであった。	—	—
ボトリチス属菌に よる葉枯れ症（白 斑葉枯病）	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並みであった。	—	—
萎黄病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% （平年0%）、発病株率0.1%（平年0%） で平年に比べ多かった。	県内全域	少 6
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率60.0% （平年47.8%）で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 34

お問い合わせ先  
 山口県病害虫防除所  
 TEL (0835) 28-1211(代)  
 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp